

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 6 年 6 月 6 日	
松山市長 野志 克仁 様	
提出者	
住 所	松山市桑原3丁目4番8号
氏 名	株式会社 西 川 工 業
(名称及び代表者の氏名)代表取締役 青 木 清 美	
電話番号	089-941-6517
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 西 川 工 業
事業場の所在地	松山市桑原3丁目4番8号
計画期間	令和 6 年 4 月 1 日 ~ 令和 7 年 3 月 31 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06 総合工事業
② 事業の規模	資本金1,000万
③ 従業員数	4人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	現場にて取壊し分別し、収集運搬車に積み込み、中間処分場及び最終処分場にて処分する。

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
代表取締役 (総括責任者) ↓ (廃棄物管理担当者) ↓ 現場廃棄物担当者			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度 (令和5年度) 実績】		別表1 のとおり
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	排 出 量	9 t	134 t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		別表2 のとおり
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	排 出 量	7 t	100 t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック・木くず・ガラスくず及び陶磁器くず・がれき類・ 安定型混合廃棄物 解体現場での分別解体及び手作業での分別を行っている。		
③ 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記の通り 手作業での分別作業をより細かく行っていく。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		別紙1のとおり
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		別紙2のとおり
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		別紙1のとおり
	産業廃棄物の種類		
	自ら熟回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量		t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		別紙2のとおり
	産業廃棄物の種類		
	自ら熟回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量		t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		別紙1のとおり
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		別紙2のとおり
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		別紙1のとおり
	産業廃棄物の種類	木くず	がれき類
	全処理委託量	134 t	980 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	5 t	857 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 再利用のできる木くず・コンクリートなどは委託業者処理を委託している。		

(第5面)

② 計画	【目標】 別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類	木くず	がれき類
	全処理委託量	100 t	770 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	100 t	770 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 手作業での分別を徹底する。		
※事務処理欄			